

省エネお助けメモ

温室効果ガスの大部分を占めるCO2（二酸化炭素）は、みなさんの暮らし（事業活動）のエネルギー消費によって排出されています。生活の中で、ちょっとした省エネの工夫をすることが、地球温暖化の防止につながります。

種別	事業所での取組	お助けメモ
エアコン	エアコン設定温度を現在より冷房、暖房ともに1℃緩和している。 (室温目安 夏：28℃ 冬：20℃)	扇風機の併用を。風が体にあたることで、冷房時は体感温度が下がります。
	始業時は外気温度が上昇してから冷房運転を始め、終業時は30分早めに停止している。	運転時間を見直すことで省エネを進めることができます。また、空調機器の一斉起動を避け、フロア毎に時間調整することも省エネ効果が得られます。
	10年以上前から使用しているエアコンを最新の 高効率型のエアコンに更新している。	室外機は風通しの良い場所に設置。夏は室外機を日陰にしたり、周囲へ散水することで省エネ効果がアップ。 室内機のフィルター掃除も効果的。
照明	蛍光灯からLED電球に更新している。	従来型蛍光灯から直管形LED照明等に交換した場合、約40%消費電力削減。※経産省「冬季の節電メニュー」より https://www.kansai.meti.go.jp/3-9kaihatu/downloadfiles/setsuden_menu_jigyo_other2015w.pdf
	昼間執務室が明るい場合、外光を取り入れるなどし、照明の間引き及び消灯を行っている。	間引き及び消灯は、JIS照度基準による適正照度の管理をしながら行ってください。
パソコン	パソコンを使わないときは電源を切っている。	電源オプションの見直しを。「モニタの電源をOFF」から「システムスタンバイ」に！
給排水	節水対策(節水コマ、自動洗浄機、擬音装置、節水シャワー)を行っている。	取水、浄水、送配水や下水処理の過程でポンプを動かすため、施設によっては大幅な省エネにつながります。
ガソリン	アクセルをやさしく踏み、ゆっくり発進する。 (目安 最初の5秒で時速20キロ)	発進後5秒後に20km/hを目安にゆったりめの発進を。
	加減速の少ない運転を心がけている。	急発進、急加速は事故のもとであり、エンジンにも負担をかけます。
	早めのアクセルオフを心がけている。	エコドライブは安全運転。走行は適正スピードで。燃費面でも経済的です。
	アイドリングストップを心がけている。	すぐ青に変わる信号での停止や一旦停止は、アイドリングストップをしなくてもよいです。
廃棄物	ごみは分別して捨てている。	4R（リフューズ（発生回避）、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化））でごみ減量を行い、コストも削減！